

京田辺シュタイナー学校 ユネスコ・スクール申請中

NPOとして日本で初めての承認

本校は文部科学省・日本ユネスコ国内委員会を通じてパリのユネスコ本部にユネスコ・スクールへの加盟を申請し、近日中に承認される予定です。これは、日本のNPO法人の教育機関として、また国内のシュタイナー学校の中で初めてとなります。

ESDで私たちの未来が変わる

ESDは「Education for Sustainable Development（持続可能な発展のための教育）」の頭文字で、日本では「持続発展教育」とよんでいます。21世紀に生きる私たちは、未来に向けて様々な選択を迫られています。地球規模の課題を、私たち一人ひとりが自分のものとしてとらえ、共に考え、行動できる人間になることが、50年後、100年後の私たちの生活の真の豊かさを創っていくのです。そのための教育がESDといえます。

世界的なネットワークによる教育活動

ユネスコ・スクールは1953年、ユネスコ憲章に示されたユネスコの理想を実現し、また平和、人権、環境への意識を高め、国際的な連携を広げることを実践を通じて促進する目的で始まった世界的なネットワークです。各校は独自のプロジェクトに取り組み、他の加盟校と協力し、交流することを目指します。現在では特に、ESD（持続発展教育）の推進拠点校・研究開発校としての役割を期待されています。



京田辺シュタイナー学校校舎



収穫祭後、
全校生徒で
フォークダンス



10年生
(高校1年生)
測量



3年生 生活科 家づくり

京田辺シュタイナー学校

ドイツの哲学者ルドルフ・シュタイナーの教育理念に基づく学校として、それを創りたいと願う親と教員によって2001年に開校。現在、小学1年生から12年生（高校3年生）まで約250名が在籍しています。

ESDと京田辺シュタイナー学校

当校のカリキュラムは、12年間の学びが豊かな人間性を育むことを目標に、総合的・体系的に考えられており、縦横に環境教育や体験学習、実習が折り込まれています。私たちは、生徒一人ひとりが、人と共に生き、感じ、考え、共に夢を実現する力をもつこと、そして、人とのつながりを大切にしつつも、時として一人悠然と地上に立つ強さを併せもつことを願っています。その願いは、持続可能な未来を創りだそうというESDの考え方も重なると考えています。



いのちを表現する文化に出会う ～ESD写真展に寄せて～

講演会

1月11日(祝) 13:00～15:30

学校ホール

入場無料(要申込み)

I アジアのユネスコESDの現在 ～フォトキャラバンが語りかけるもの～

講師/永田佳之氏 (聖心女子大学)

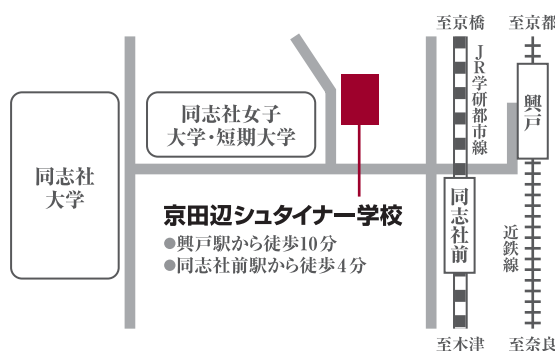
アジア・太平洋地域のユネスコESD活動を推進。著書に、『持続可能な教育と文化/深化する環太平洋のESD』、『オルタナティブ教育』、『シュタイナー教育で育つ子どもたち』他

II 文化の精神を伝える ～ESDへのシュタイナー教育の貢献～

講師/今井重孝氏 (青山学院大学)

『学校に森をつくろう!—子どもと地域と地球をつなぐホリスティック教育』『未来を開く教育者たち/シュタイナー・クリシナムルティ・モンテッソーリ』他

コーディネート/司会/吉田敦彦(京田辺シュタイナー学校理事、大阪府立大学)



9日、11日の両講演会共にお申し込みが必要です(入場無料)。お申し込みは学校ホームページ(検索→京田辺シュタイナー学校または ktsj.jp/)、またはFAX0774-34-0133までどうぞ。
申し込み受付期間:12月5日～12月20日
FAXでお申し込みの際は、①ご希望の講演会の日(9日、11日) ②お名前 ③連絡先電話番号 ④住所を必ず明記してください。